

包埋用シート、消毒剤の影響調査（R5～）



斜面の上方（写真右）から下方に向かって、捕獲個体A→捕獲個体B→捕獲個体C

捕獲個体名	体長	体重	性別	週齢	シート内側	シート外側
捕獲個体 A	51.1cm	7.0kg	オス	15週	粉末	250倍
捕獲個体 B	52.1cm	8.6kg	メス	22-25週	250倍	250倍
捕獲個体 C	56.3cm	9.1kg	メス	22-25週	粉末	粉末

センサーカメラ3台によりモニタリング中

- 野外でのASF防疫に有効な消毒剤を選出
 - ・ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム（クレンテ）
 - ・アルコールなどを併用⇒掘起し防止効果は確認できなかった
腐敗臭の発生を抑制している可能性が示唆された
- 生分解性シートによる包埋方法を構築
⇒簡易な方法手順を作成した
- 観光部局からの依頼により実証地を途中変更
- 11月に埋置したイノシシ死体（一部適正処理済み）への反応を確認
⇒イノシシ、アナグマ、タヌキ等の通過を確認

包埋用シート、消毒剤の影響



2024/01/29 22:04:22

具体的な死体処理方法の検証



埋置場所の整地等準備



生分解性シートの準備

- ・位置決め
- ・縛るための紐等の準備



死体安置と消毒

- ・斜面上から下方におろすように配置
- ・口や排泄口などは特に消毒



シートによる包埋

- ・体液漏れを防ぐために下側からシートを折りたたむ



シートによる包埋

- ・次の体液漏れ防止のため、側面を折りたたむ

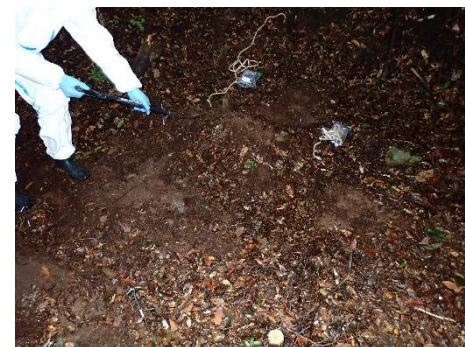


シートに包埋した死体を縛る

- ・頸部と後脚前の腹部等だとズレにくい



包埋した死体と周辺の消毒



死体の埋土作業等

- ・掘起し防止措置
- ・死体の持ち出され措置

7 ▶ 作業効率等を分析しながら、埋置した死体を観察中

死体へのイノシシの反応事例（79日目）



2024/04/25 00:58:06

設置後： 79日 8時間

死体へのイノシシの反応事例（198日目）

※ 途中経過のため、事例の一つであることに留意

8か月後以前の確認

12か月後以降の確認

死体への接近種	イノシシ、アナグマ、タヌキ	イノシシ、タヌキ、アライグマ、アナグマ、カラス類
死体への腐肉食	—	タヌキ、イノシシ、アライグマ (10か月目に発生)



【確認できた事象の一部】

- ・ 塩素系消毒剤と生分解性シートにより、外部への臭気がほとんどしていなかった

⇒少し匂いを感じた後
(139日後以降)に

最初はタヌキが腐肉食

※最初期の発見と学習の可能性

- ・ 骨などの分散が起こる

▶ 適正処理を行っていない場合にはリスクが高くなる